

第2次岡山市協働推進計画（素案）へのパブリックコメントについて

(1) 募集期間 令和2年12月28日（月）～令和3年1月27日（水）まで

(2) 提出意見 意見数5件（2人）

意見区分		意見要旨	意見への対応	ページ	計画への反映
1	全体	地域活動に協働は必ずしも必要ではない。計画名を「地域課題解決推進計画」などのほうが分かりやすいのではないか。	個人の価値観が多様化し、社会が急速に変化するなど、市民ニーズや地域課題は複雑化・多様化しており、地域活動を行っている団体の取組がさらに充実・発展していくためには協働の取組が必要不可欠です。また、本計画は、岡山市協働のまちづくり条例第14条に基づき、多様な主体による協働を推進するための計画です。	—	計画は修正しません。
2	若者の人材育成	学生を含めた若者に対して、SDGsを題材として地域との関わりを強めていく必要がある。	学生を含む若者が取り組む活動について、実際に声を聞くことで、活動に参加するきっかけづくりや関係課と連携して必要な支援を検討してまいります。	24	今後の施策・事業の参考とさせていただきます。
		NPO団体や行政が小学生等にSDGsの教育等を行い、その支援策として、行政はNPOに財政支援を行ってはどうか。			
		若者向けの施策をもっと充実すべきではないか。			
3	市役所の協働化の推進	「市職員への研修の実施」とあるが、座学だけではなく、NPO団体とより積極的に関わっていくべき	地域活動等の実践者またはその分野に精通した講師による講義等のほか、市民協働推進事業による行政と市民活動団体との協働事業やワークショップ等を通じて連携してまいります。	27	今後の施策・事業の参考とさせていただきます。